

目黒区いきもの住民台帳

身近に暮らすみどりのなかまたち

List of Orthoptera of Meguro City

め ぐ ろ く も く

目黒区のパッタ目



地球のいのち、つないでいこう



いのち わ
ささえあう生命の輪 目黒区生物多様性

目黒区

目黒区は、生物多様性地域戦略*を定め、自然と共生するまちづくりを推進しています。その基礎資料とするため、区内のいきものの変化を捉える身近な生物調査や専門機関によるみどりの実態調査*を継続しています。

「目黒区いきもの住民台帳」は、これらの調査の結果を区で記録された生物の種名リストとして集計したものです。住民台帳の名は、身近な場所に暮らす『いきもの』たちを、私たちとともにすむ『目黒区の住民』としてとらえたもので、2009年におよそ3,000種類の動植物等を掲載した暫定版を公開しました。今回は人々の暮らしに潜んでいるバッタ目について紹介するものです。バッタ目の分類や生態等の記述については齊藤秀生(さいとうしゅうせい)氏にご監修いただきました。

いきものは、自然の中でそれぞれ欠かすことのできない固有の働きをしながら、地域の自然を形づくっています。気象の変化など身の回りの環境の変化が見られる現在、いきものの記録は私たちのまちの自然の現状を知り、生物多様性*の保全や回復を進めていく資料として大変重要なものとなっています。

「目黒区いきものみどりみらい計画 ～ささえあう生命(いのち)の輪(わ) 野鳥のすめるまちづくり～」では、野鳥を都市における生物多様性確保のシンボルとして捉え、エコロジカルネットワーク*の形成などを目指しています。この冊子が身近な環境に目を向ける機会となり、学習や地域活動の参考になれば幸いです。

作成にあたりご指導をいただきました齊藤秀生氏ほか、観察記録などの情報をいただきました多くの区民の方々、定点観測員*、自然通信員*、いきもの発見隊*・駒場野自然クラブ*等参加者、公園活動登録団体*、駒場野公園自然観察舎、菅刈ネット21、中目黒公園花とみどりの学習館、区立小中学校ほか皆様のご協力に感謝申し上げます。

目黒区都市整備部みどり土木政策課

目黒区は、東京23区の西南部に位置し、渋谷区、品川区、大田区、世田谷区に隣接します。住宅系用途地域が8割以上を占める住宅地を主体としたまちで、面積は14.67km²、人口は282,526人(2026年3月1日時点)です。

総合庁舎のある上目黒2丁目は緯度35度38分、経度139度41分です。

緑被率※は17.0%(2023年度調査)で東京23区中16位、水面が見える

河川は、目黒川の大橋より下流、呑川の緑が丘3丁目の下流です。

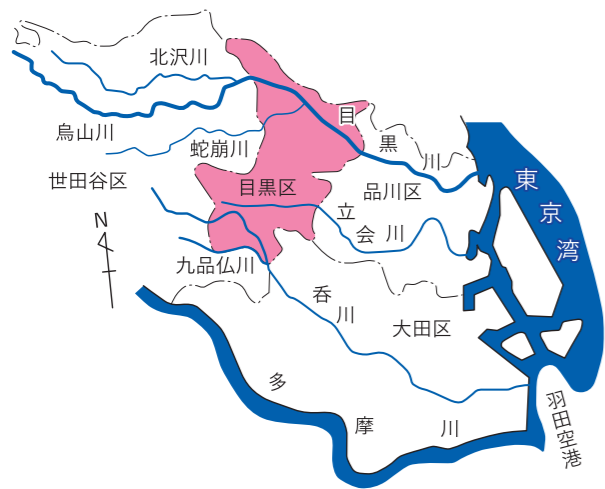


図 目黒区の水系(2000:目黒区基本計画より)

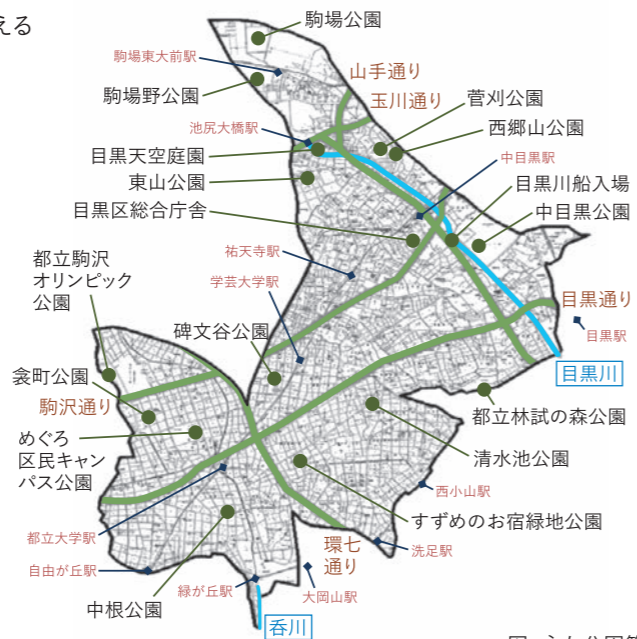


図 主な公園等

*用語説明(〔区〕は区の事業をあらわす)

- あ** いきもの発見隊(いきものはっけたい) イベント型住民参加調査、親子などの参加者が身近ないきものを探して記録し、自然の大切さや街に自然を呼び戻す工夫を考える〔区〕
- エコロジカルネットワーク(えころじかるねっとわーく) 散在する緑地を緑道や街路樹をつなぎ、いきものがすみ、移動できる緑地を効果的に配置した緑地のネットワーク(目黒区いきものみどりみらい計画 ～ささえあう生命(いのち)の輪(わ) 野鳥のすめるまちづくり～より)
- か** 公園活動登録団体(こうえんかつどうとうろくだんたい) 公園の清掃・花壇管理等の維持管理活動や、地域住民を対象としたイベント企画運営活動を行うボランティア活動団体。「住民参加による公園活性化のための要綱(ようこう

- 〕(2001(平成13)年2月要綱(ようこう)制定)により区が登録し、区は一定の支援を行う〔区〕
- 駒場野自然クラブ(こまばのしぜんくらぶ) 駒場野公園の貴重な自然を地域の方の参加により守り伝える活動で、駒場野公園が開園した昭和61年から続いている。駒場野公園の雑木(ぞうき)林(ばやし)管理や自然観察などの活動を年間を通して行い、身近な自然のふれあいやいきものとの出会い、草刈りや炭焼きなどの作業が子どもたちの貴重な原体験や学習の場となっている〔区〕
- さ** 自然通信員(しぜんつうしんいん) 身近な自然の観察記録を区に報告するボランティア。記録は生物季節や経年変化の把握などに活かされている〔区〕
- 生物多様性(せいぶつたようせい) ささまざまな「自然」が、そこに特有の「個性」をもついきもの

- がいて、それぞれの命がつながりあっていること。食料や水の供給、気温等の安定、水質の浄化、私たち人間へのおいやすみや安らぎの付与などの「生態系サービス」と呼ばれる「自然の恵み」は生物多様性のバランスの上に成り立っている
- 生物多様性地域戦略(せいぶつたようせいちいきせんりやく) 生物多様性基本法第13条に基づき、自治体が策定する生物多様性の保全に関する基本的な計画。目黒区では自然と共生する社会を目指し「目黒区いきものみどりみらい計画 ～ささえあう生命(いのち)の輪(わ) 野鳥のすめるまちづくり～」を策定している〔区〕
- ま** みどりの実態調査(みどりのじったいちょうさ) 目黒区みどりの条例に基づき、定期的の実施する区内の緑の実態に関する調査。昭和47(1972)年度、52(1977)年度、60(1985)年度、平成4(1992)年度16(2004)年度、26(2014)年度、令和5年(2023)年度に実施している〔区〕
- ら** 緑被率(りよくひりつ) 上空から見て、樹幹や草地などみどりで覆われた面積が占める割合
- た** 定点観測員(ていてんかんそくいん) 自然通信員のうち、公園や庭など身近な場所を観測地として、開花日、野鳥などの初鳴き日、初見日など四季の変化を継続的に観察するボランティア〔区〕

- ま** みどりの実態調査(みどりのじったいちょうさ) 目黒区みどりの条例に基づき、定期的の実施する区内の緑の実態に関する調査。昭和47(1972)年度、52(1977)年度、60(1985)年度、平成4(1992)年度16(2004)年度、26(2014)年度、令和5年(2023)年度に実施している〔区〕
- ら** 緑被率(りよくひりつ) 上空から見て、樹幹や草地などみどりで覆われた面積が占める割合

まえがき

バッタ目(直翅目)は、バッタやコオロギ、キリギリスなどを含む昆虫の分類群です。

バッタ目のいきものは、発達した後脚あしを持っているという特徴があります。これらのいきものは、公園や庭先などの身近な場所でも見られるため、探してみてもいいかもしれません。それぞれの姿や形が違うことはもちろんのこと、住む場所や食べるものなど生態も違うことがわかるかもしれません。

この冊子では、主に目黒区で見られるバッタ目に焦点を当て、特徴や生態を学べるものになっています。また、目黒区内の公園や施設にも着目しました。なお、目黒区に住んでいるみなさんから寄せられた区内にいるいきもの観察記録を集めた「めぐろいきもの气象台」のデータを用いて、これまでに目黒区で確認されたバッタ目のリストも掲載しています。

バッタのなかま



オンブバッタ



トノサマバッタ

コオロギのなかま



ハラオカメコオロギ



エンマコオロギ

キリギリスのなかま



ヒガシキリギリス



クビキリギリス

その他にもこんな種類もいます



マダラカマドウマ



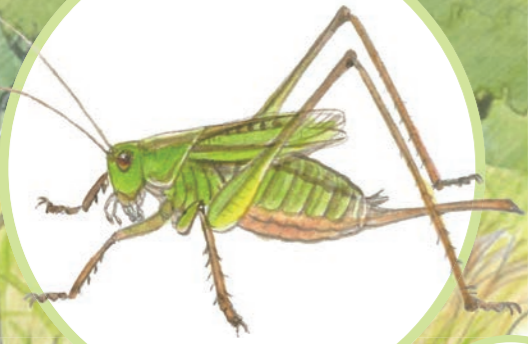
ハネナシコロギス

目黒区報でも情報提供を呼びかけました!

区民の方より、たくさんのお情報をいただきました。ご協力ありがとうございました!



いつも暮らしの身近にいるバッタ目について知ってみよう



バッタ目の特徴

P4-5



トノサマバッタの一生

P6

バッタ目と食

P7



目黒区で見られる
バッタ目のなかま

P8-9

目黒区の実践紹介

P10-11



いきもの住民会議

P12



監修者コラム

P13

みどりの散歩道の紹介

P14-15

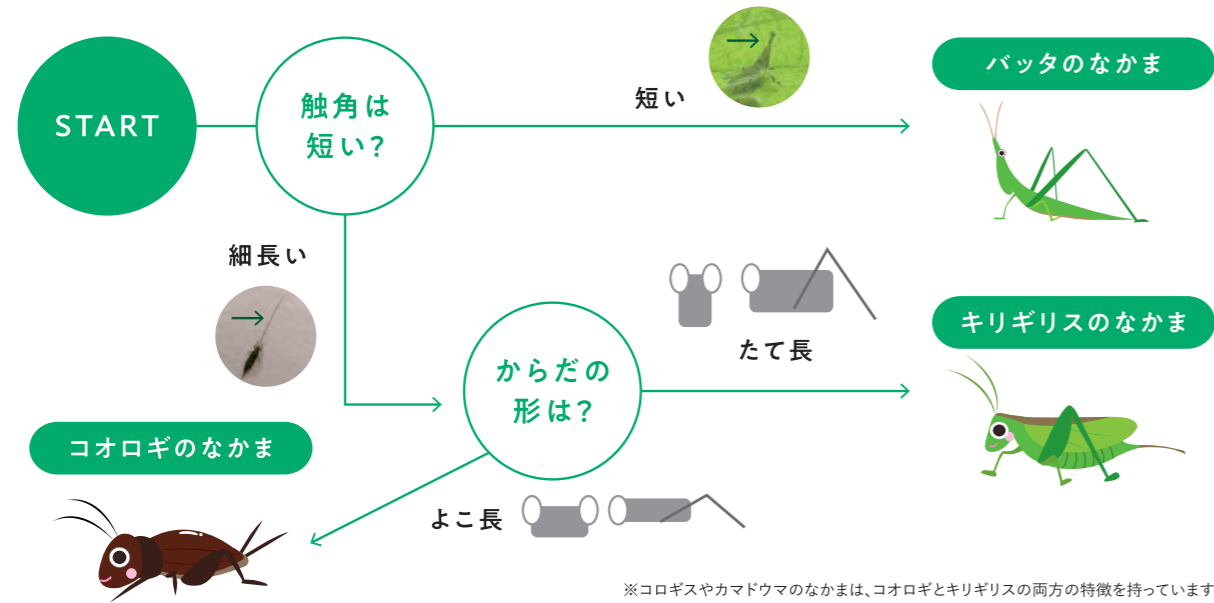
目黒区で確認されている
バッタ目リスト

P16-19

だれでもかんたん! バッタ目の見分けかた!

バッタ目のなかまは、発達した後脚を持ち、とびはねることに適しています。うすくて大きな後翅は、普段はひだ状に折りたたまれて、前翅の下に隠れています。翅が退化して飛べない種もいます。

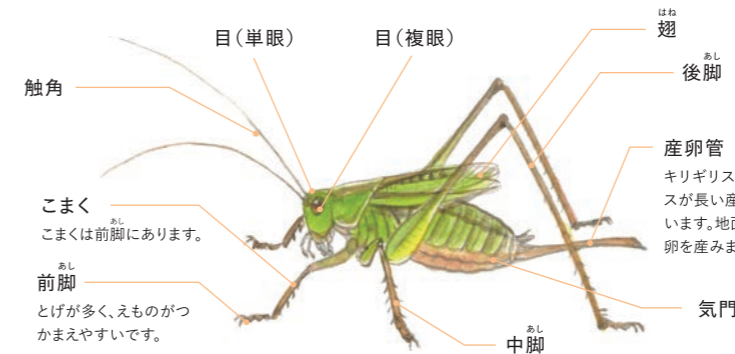
同じバッタ目のなかまでも種類によって姿や特徴が異なります。見つけたバッタ目のなかまを下のフローチャートを使って、種類を確認してみましょう!



キリギリス類の特徴

キリギリスのなかま

- 触角は髪の毛のように細長く、体は左右に平たい
- メスの産卵管は刀や斧型で平たい
- 雑食(肉食の種もいる)
- さまざまな音を出す種が多い



ヒガシキリギリス

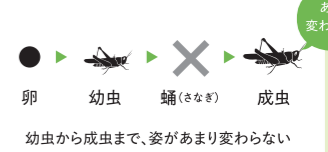
キリギリス科
大きさ/オス 26~42mm、メス 25~40mm

明るく開けた自然度の高い草地を好む、夏を代表する鳴く虫です。風行性で気温が上がり始めると「チョン・ギーース」と鳴きます。

バッタ目のなかまは不完全変態

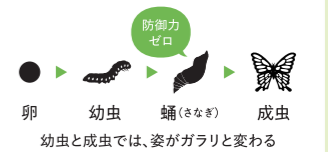
不完全変態とは?

幼虫からそのまま成虫になる
例えば…バッタのなかま、トンボのなかまなど



完全変態とは?

幼虫から蛹を経て成虫になる
例えば…チョウのなかま、ハチのなかまなど



コオロギ類の特徴

コオロギのなかま

- 触角がとても細長く、身体は上下に平たい
- メスの産卵管は針のように、細くて長い
- 雑食
- さまざまな音を出す種が多い



エンマコオロギ

コオロギ科
大きさ/オス 29~35mm、メス 33~35mm

目の上の模様が閻魔大王の顔を連想させることが名前の由来です。体は濃い茶色で、頭部は光沢があり丸顔、目の上の白い線が特徴です。

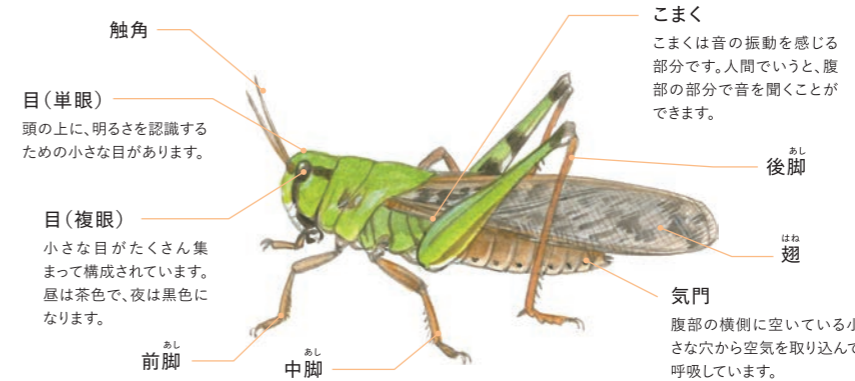
コオロギの鳴き方

コオロギのなかまやキリギリスのなかまは、基本的にオスだけがメスにアプローチするために鳴きます。コオロギは種類ごとに鳴き声の違いがあります。その理由は「同種を呼び寄せる」役割があるからです。



バッタのなかま

- 触角が太くて短く、体は左右に平たい
- メスは腹部の先に産卵器があり、尖った三角の形(スコップのように土を掘ることができる)
- 草食
- 単調な音を出す種がいる



トノサマバッタ

バッタ科
大きさ/オス 35~40mm、メス 45~65mm

日本では最大級のバッタです。体は緑色や茶色で、翅には濃茶色と白色のまだら模様があります。人の気配に敏感でよく飛ぶのでなかなか近寄れません。

バッタはなぜ「おんぶ」するの?

大きいバッタが小さいバッタを「おんぶ」している様子を見たことがありますか?これは親子ではなく、メスの上にオスが乗っている状態です。交尾するときの状態ですが、交尾以外にも、オスが自分の子孫を残せるように、他のオスから、メスを取られないように守っているのです。



オンブバッタ

オンブバッタは、オスがメスの背中に乗っている姿が名前の由来です。

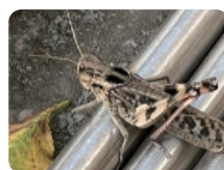
トノサマバッタの一生

トノサマバッタは蛹の期間をもたないで成長する、不完全変態の昆虫です。
トノサマバッタが幼虫時と成虫時でどのような生活を送るのか紹介します。

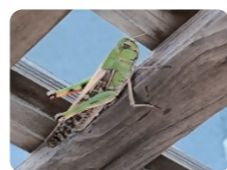


バッタのなかまのからだの色のちがい

幼虫のときの生理状態や育った場所などに似ている色になると言われています。



茶色っぽい色



みどり色

食欲旺盛すぎて、農作物を食いつくすバッタがいる?! - 蝗害 -

日本のトノサマバッタの仲間、アフリカ北部から中東に生息するサバクトビバッタは、「蝗害」で有名なバッタです。このバッタは普段は孤独相と呼ばれる単独生活をしていて翅も比較的短いですが、環境が悪くなると群集相と呼ばれる集団で生活し翅も長い集団が現れます。

干ばつや飢饉などで、生息環境に食べ物となる植物が少なくなるなどして、周辺に仲間の糞の割合が多くなると、それに反応して生理生態が変化します。この変化した幼虫の集団は成長すると翅が長くなり筋肉をつけ集団で生活し、大移動する群集相になります。群集相は、より良い環境を求めて集団で長距離を飛び回り、植物を食いつくしながら大移動をします。この時に起こる被害のことを「蝗害」といいます。「蝗害」は、生息環境が悪化した場合の、バッタの生き残り戦略の結果起こる現象なのです。



※日本に生息するトノサマバッタでも、同じような現象が起こり得ます。明治初期に北海道でトノサマバッタが大繁殖したという記録が残されています。

バッタ目と食

バッタ目のいきものは生きていくために草や他のいきものを食べますが、他のいきもの大切な食べものにもなっています。自然環境での「食べる・食べられる」のつながり(=食物連鎖)を紹介します。

また、ハリガネムシの幼生を捕食した水生生物を食べてしまったことによって、寄生されてしまったバッタのなかまについて紹介します。

食物連鎖(「食べる・食べられる」の関係)



草を食べるコバネイナゴ

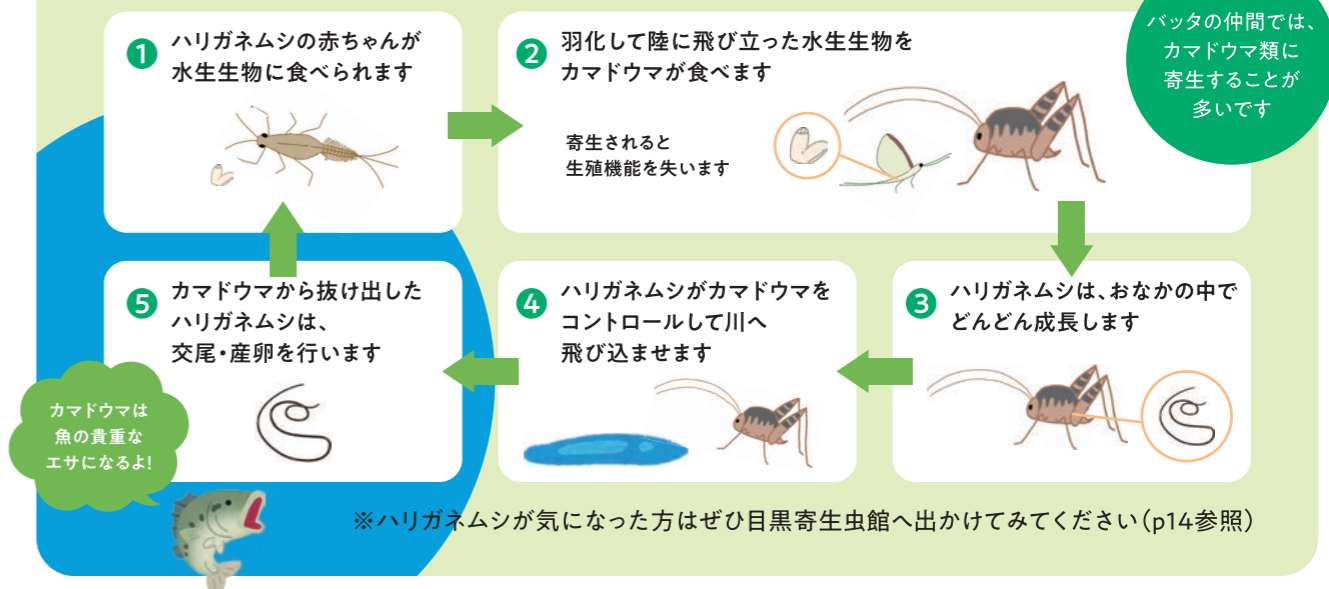
バッタ目のいきものは、固い葉を噛めるようにあごが発達しています。



モズのはやにえ

モズは、捉えた獲物を木の枝などに刺しておく行動をすることがあります。バッタ目のいきものははやにえにされていることがあります。

ちょっと特殊? バッタのなかまに寄生するハリガネムシ



目黒区で見られるキリギリス・コオロギのなかま

目黒区でもよく見られる種を紹介します。

見つけた場所も併せて記載していますので、ぜひ探してみてください。



ハラオカメコオロギ

探しやすい時間帯 探しやすい場所

〈科名〉コオロギ科
 〈大きさ〉オス:14~15mm
 メス:12~15mm

〈特徴〉庭先や公園など開けた環境でよく見られます。暗くなるころから夜中くらいまで「リリリ、リリリ、リリリ…」と3音や4音ずつ切つて鳴きます。

自然通信員の声

晴れの日に鳴いていた(2021年)。
 ◎報告数:72件

見つけた場所

- ・駒場野公園
- ・中目黒公園
- ・目黒清掃工場緩衝緑地など



ツズレサセコオロギ

探しやすい時間帯 探しやすい場所

〈科名〉コオロギ科
 〈大きさ〉オス:16mm
 メス:16mm

〈特徴〉体の色は褐色で、オスは夜、「リーッリーッリーッリーッ…」と切れ目なく鳴きます。なわばり意識が強く、オス同士は盛んに争います。

自然通信員の声

庭でジージー…と鳴いていた(2007年)。
 ◎報告数:68件

見つけた場所

- ・駒場野公園
- ・中目黒公園
- ・緑ヶ丘小学校など



クビキリギス

探しやすい時間帯 探しやすい場所

〈科名〉キリギリス科
 〈大きさ〉オス:27~34mm
 メス:27~34mm

〈特徴〉都市部では、空き地や公園など比較的さまざまな場所で見られます。固いイネ科の植物を食べるためにあごが発達しています。

自然通信員の声

田んぼで羽化しているところを発見(2017年)。
 ◎報告数:73件

見つけた場所

- ・駒場野公園
- ・中目黒公園
- ・東京科学大学など



マダラスズ

探しやすい時間帯 探しやすい場所

〈科名〉ヒバリモドキ科
 〈大きさ〉オス:6.2~7.7mm
 メス:6.4~7.4mm

〈特徴〉体に黒っぽいまだら模様があり、昼夜問わず「ヂーッ」と鳴きます。地面が露出した環境を好みます。

自然通信員の声

曇りのち雨の日に鳴いていた(2018年)。
 ◎報告数:62件

見つけた場所

- ・駒場野公園
- ・中目黒公園
- ・菅刈公園など

目黒区で見られるバッタのなかま

●〈アイコン一覧〉おおよその目安ですので、これをもとにいろいろな場所で探してみてください。

探しやすい時間帯 日中 夜間 探しやすい場所 草むら 落葉のある場所 土の地面 石ころのある場所や砂地



ショウリョウバッタ

探しやすい時間帯 探しやすい場所

〈科名〉バッタ科
 〈大きさ〉オス:40~50mm
 メス:75~80mm

〈特徴〉メスはオスの倍くらい体が大きいです。オスは驚くと前後の翅を打ち合わせながら、チキチキと音を出して遠くまで飛びます。

自然通信員の声

幼生がナスの葉を食べていた(2010年)。
 ◎報告数:163件

見つけた場所

- ・中目黒公園
- ・目黒区総合庁舎屋上(目黒十五庭)
- ・宮前小学校など



コバネイナゴ

探しやすい時間帯 探しやすい場所

〈科名〉バッタ科
 〈大きさ〉オス:16~33mm
 メス:18~40mm

〈特徴〉体は明るい緑色をしていて、側面に濃茶色の筋が入っています。食用として佃煮にすることもありません。

自然通信員の声

モズにはやにえにされる(2008年)。
 ◎報告数:136件

見つけた場所

- ・駒場野公園
- ・菅刈小学校
- ・緑ヶ丘小学校など



ハラヒシバッタ

探しやすい時間帯 探しやすい場所

〈科名〉ヒシバッタ科
 〈大きさ〉オス:7.7~9.8mm
 メス:8.9~13.5mm

〈特徴〉体は太く、全体にヒシ型です。また、体の模様にはいろいろなものがあります。

自然通信員の声

草の上で発見(2004年)。
 ◎報告数:28件

見つけた場所

- ・中目黒公園
- ・駒場野公園
- ・菅刈公園など



イボバッタ

探しやすい時間帯 探しやすい場所

〈科名〉バッタ科
 〈大きさ〉オス:24mm
 メス:35mm

〈特徴〉体は灰色で、暗い褐色のまだら模様やいぼ状のおうつつがあります。

自然通信員の声

晴れの日に発見(2021年)。
 ◎報告数:27件

見つけた場所

- ・中目黒公園
- ・駒場野公園

キリギリス・コオロギが音を出す仕組み

鳴くのはオスのみのため、オスの翅は左右非対称になっており、それぞれ役割が違います。左右の翅をこすり合わせることで音を出しています。なお、メスの翅は左右対称です。



昆虫のなかでも、左右非対称の翅をもつ種は珍しいよ!

ヒメギス

バッタが音を出す仕組み

コオロギやキリギリスに比べると単調な音しか出しません。



前翅の表側のやすり

後脚のもの内側にある突起

翅と脚をこすりつけて音を出しているよ!

コラム どうやって鳴き声を出しているの?

よく「虫が鳴く」という表現を使いますが、人間のように声帯を使って声を出すのではなく、翅や脚をこすり合わせて音を出しています。多くの場合は、オスがメスに求愛するために音を出すので、オスだけが鳴きます。夏や秋の原っぱで耳をすませると、いろいろな「虫の声」が聞こえてきます。